

会議の概要

会議名	第3回宝塚市民文化芸術振興会議
開催日時	平成26年4月3日 18:30～20:30
開催場所	市役所 3-3会議室
出席委員	石田委員 奥村委員 河内委員 栗本委員 小宮委員 高波委員 中辻委員 林委員 藤井委員 安井委員 山田委員
傍聴者	なし
公開の可否	可
議題及び結果の概要	<p>1 議 事</p> <p>(1) 阪神各市における文化芸術施策</p> <p>事務局から、阪神各市の文化芸術施策（以下の①～⑤）を説明。 （資料1～3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 障害者に対する文化芸術活動の施策 ② 文化芸術活動に関わる人材育成の施策 ③ 文化芸術に関する調査、研究と情報発信の施策 ④ 子どもたちの文化芸術活動の施策 ⑤ 活動助成の取り組み、文化関係基金の状況 <p>(2) 宝塚市の課題について意見交換</p> <p>委員：大阪市、神戸市のふるさと納税では、億単位での納税額となっている。宝塚は、百万単位の額であり、ふるさと納税の制度が上手くPRされていない。お金がなければ文化芸術活動の支援もできないのではないかと。文化基金を設けるにしても、資金を集める努力が求められる。</p> <p>事務局：実績が上がっていないのが現実である。納税者に魅力ある特典を贈るなど工夫することが市議会でも指摘があり、今後、検討していくこととしている。</p> <p>委員：西宮船坂ビエンナーレ（芸術祭）を地域の人たちと一緒にやっている。その開催には、広報面の便宜を図ってもらうなど市の関わりが絶対に欠かせない。昨年は、西宮市の協働提案事業の一つに採択されて活動助成を受けている。しかし、市だけの経済的な支援では、この事業の開催は無理であり、国や企業の助成金の獲得のための情報提供や事務手続きの助言などにも応援をしてもらっている。市の専門的な知識を持った職員がコーディネータ役として介在することで文化事業がさらに進展する基盤ができる。協働提案事業でのプレゼンテーションの場は様々な団体とつながる絶好の機会であるとともに、やる気のある人、意欲ある市民を発掘して、つなげる場づくりの役割を担うのが文化政策課では</p>

ないか。

事務局：本市でも西宮市と同様に協働のまちづくりを推進する目的の公募型補助金の制度がある。

委員：そうした制度の情報を市民がキャッチすることが極めて難しい現状であることが問題である。そのために市と市民をつなぐ中間支援組織が必要である。その役割を今の文化財団は担えていないし、行政である文化政策課だけでも荷が重い。市民の活動をマッチングさせる相談機能を持つ新たな組織が必要である。それは行政の縦割りを解決できる横断的な組織でなければ市民にとって意味がない。

委員：文化関係基金を受け付けていない市の現状は、文化振興の基盤が弱い証といえる。行政がリードして宝塚らしい基金を設けなければ今後の進展が望めないのではないか。

委員：この審議会では基本計画の策定が主な任務であるが、本年度中にいくつかの事業を計画して、その予算化を考え、振興施策の具体的な推進が求められる。

事務局：協働のまちづくりを目標に、文化情報の発信、相談、コーディネート機能の充実など、行政側として市民の文化芸術活動支援の具体策を十分検討していきたい。

委員：宝塚市は中小規模のホールが多いのが特長であり、そこを上手に利用して、多様な発表機会を市がプロデュースできないだろうか。また、子どもを対象とした演劇や音楽を体験できる機会や発表の場を行政主導でつukれないだろうか。そのための次世代を育成する市民参加のプログラムを発信していく予算の確保を考えてはどうか。

会長：発表の場といえば、過去にはバウホールでミュージックフェスティバルを開催していた。音楽関係だけハレの舞台としてベガ・ホールがあるのが実情であり、他の分野にもそうした施設が必要ではないか。

委員：美術品の展示、発表の場は特にひどい状況である。すべての創造活動が網羅される空間、シンボリックな施設があれば人の集まる場所になると思う。その候補地にはガーデンフィールズの跡が相応しいと考える。

委員：そこが文化の中心となるよう宝塚らしい特化した施設をつくるためにみんなで知恵を出し合うことが大切である。市民のためのハレの舞台、拠点となることが望ましい。

委員：まちぐるみで人の集まるような文化事業を考え、開催することで街が栄え、発展していくものである。

	<p>会 長：宝塚市にはベガの国際合唱コンクールなどのすばらしいコンテンツがあり、まちを活性化する条件は整っている。</p> <p>委 員：今回、基本計画をつくるにあたり、文化芸術を提供する市民、それを享受、鑑賞する市民、また、サポートをする市民というように様々な態様で区分けして、その市民が輝いて活動するための具体策を盛り込めば、宝塚らしいユニークな振興計画となるのではないか。</p> <p>委 員：現在、公民館などで取り組まれている活動を徹底して把握し、それを活性化するためのシステムや場を検討していく必要がある。また、先進事例である明石市の基本計画に提示されている中間支援組織はうまく機能しているのか調査をお願いします。</p> <p>事務局：これまでの審議会の議論を受けて、庁内関係部局を集めた連絡会を近々発足させることとしている。今回は、そこからの具体的な施策の情報を報告する予定である。</p>
--	--

○ 障害のある方への文化芸術施策

(1) 尼崎市「障害者計画」

身体障害者福祉センター …… 社会福祉事業団

- ・ 創作的活動(書道、組紐、絵画、生け花、音楽活動、絵手紙、俳句)

(2) 西宮市「障害福祉推進計画」

総合福祉センター …… 社会福祉協議会

- ・ 色々な文化を学び参加者間での交流を図る体験教室
- ・ 歌や楽器を聴いて、歌って、触れてみて、様々な角度からの音楽体験

市民ギャラリー …… 健康福祉計画課

- ・ 障害者作品展

(3) 芦屋市「障害者福祉計画」

福祉センター …… 障害福祉課

- ・ 障がい児・者作品展

(4) 伊丹市「障がい福祉計画」

障害者福祉センター(「アイ愛センター」) …… 社会福祉協議会

- ・ 「アイ愛カルチャー」文化教室(料理・絵画・書道・書道・英会話など)、
- ・ 障がい児・者作品展

(5) 川西市「障がい者福祉計画」

在宅障害者デイサービス施設「ひまわり荘」 …… 社会福祉協議会

- ・ 創作的活動(ちぎり絵、俳画、陶芸) …… 月2回
- ・ 障がい者(児)文化作品展

(6) 三田市「障害者福祉基本計画」

共に生き共に考える週間(障害者週間) …… 障害福祉課

- ・ 作品の展示

市民文化祭 …… 社会福祉協議会、文化課(文化協会)

- ・ 福祉展として、福祉団体からの出展

つながりサロン(障がい者社会参加促進事業) …… 社会福祉協議会

- ・ ミュージックセラピー、民謡教室、絵画教室と創作的活動(ちぎり絵、俳画、陶芸)

(7) 宝塚市「障がい者施策長期推進計画」

障害者自立支援センター(地域活動センター「トライアル」) …… 社会福祉協議会

- ・ 社会見学(伊丹市美術館、手塚治虫記念館)
- ・ 歌の教室、キーボードの演奏

(参考) 兵庫県阪神北、阪神南県民局

各県民局管内の市町に委託により実施

- ・ 宝塚市青い鳥学級(視覚障がいのある方)
紙芝居、落語、寄席、民謡鑑賞、朗読劇鑑賞
- ・ 宝塚市たつのご学級(聴力、言語障がいのある方)
デジタルカメラ講座
- ・ 宝塚市ふれあい学級(中途失聴・難聴の方)
宝塚の歴史

※ 阪神北県民局管内の川西市、伊丹市、三田市、猪名川町との合同事業もあり

(参考) 兵庫県

障害者の芸術・文化活動の発表を通じ、障害者の自立と社会参加意欲の高揚を図る。

- ・ 兵庫県障害者芸術文化祭
舞台部門、美術工芸作品展

《資料2》

○ 阪神各市の取り組み状況

市名	項目 全市的情報発信	活動助成		文化関係基金	ふるさと納税(寄付)
		育成団体	公募		
尼崎市	×	○	×	×	×
西宮市	○	×	○	○	○
芦屋市	×	○	×	○	○
伊丹市	×	○	×	○	○
川西市	×	○	×	○	○
三田市	×	○	×	○	×
宝塚市	×	○	×	×	×

〈 資料 3 〉

○ 阪神各市の文化芸術施策

(1) 尼崎市 … 企画財政局シティプロモーション推進部都市魅力創造発信課

〔 公益財団法人尼崎市総合文化センター 〕

拠点となる総合文化センターは、市出資の公益財団法人総合文化センターが所有する。市ホームページには、「尼崎市ゆかりの芸術家の情報」を掲載している。

- ・ 活動助成

市から文化協会へ助成を行っているが少額で、構成団体も多いことから、ほとんど意味をなしていない。

(2) 西宮市 … 産業文化局文化まちづくり部文化振興課

〔 公益財団法人西宮市文化振興財団 〕

- ・ 情報発信

財団が発行している「西宮カルチャー・イベント・カレンダー」には、財団の事業だけでなく、掲載の依頼に基づいて広く市内の文化芸術に関する情報を発信している。しかし、紙面等には限りがあり、財団事業を優先することから、すべての掲載依頼に対応できている状況ではない。

また、市ホームページ内に「カルチャー&カレッジネットにしのみや」として、市内で開催される催し物が検索できるようにしている。

- ・ 活動助成

財団では、協働提案事業・地域文化芸術振興部門として、広く市民団体の募集し、活動助成を行っている。

- ・ 基金

「文化振興基金」 19,733 千円

- ・ ふるさと納税(寄付)

「文化振興基金」への寄付を募っている。

(3) 芦屋市 … 市民参画課、教育委員会生涯学習課

文化振興基本計画は、企画課が担当し、教育等も含めて全体の進捗管理も担当している。市民参画課では、後援名義の審査、芸術文化活動助成を担当する。

外郭団体は設立せず、事業は直営で、指定管理制度は導入していない。

- ・ 情報発信

市民センターは、市民会館(ルナホール)、公民館、老人福祉センターの複合施設で、

市民会館は、市長部局の管轄だが教育委員会が受託されて管理し、公民館は教育委員会、老人福祉センターは市高年福祉課が管理する。

市民会館と公民館は、同じ職員(教育委員会)が担当しているため、情報発信も一緒に行っているが、美術館などとの連携はない。また、同じ施設内だが、老人福祉センターとの情報交換も特に行っていない。

- ・ 活動助成

市民参画課では、公的団体(主にクラブ活動)が大会等に参加する場合に費用を「芸術文化活動助成制度」により支援している。また、教育委員会生涯学習課では、市交響楽団や少年少女合唱などに「文化活動事業助成」の制度を設けている。

- ・ 基金

「市民文化振興基金」 81,288 千円

現在、基金を活用した事業は実施していない。

- ・ ふるさと納税(寄付)

「市民文化振興基金」への寄付を募っているが、平成20年度以降の実績はない。

(4) 伊丹市 都市活力部文化振興課

[公益財団法人伊丹市文化振興財団]

- ・ 活動助成

伊丹シティフィルハーモニーなどの8団体には、市民に活動成果を還元する費用として補助を行っているが、広く公募し、助成する制度は設けていない。

- ・ 基金

「芸術・文化振興基金」 101,805 千円

基金運用益と一般財源で、市芸術家協会など通じての事業や市内小中学校の吹奏楽活動の助成を行っている。

- ・ ふるさと納税(寄付)

芸術・文化を用途とした寄付を受け付けている。

平成 24 年度は、1件1万円の納付があった。

(5) 川西市 市民生活部観光スポーツ振興課(文化担当)

[公益財団法人川西市文化スポーツ振興財団]

市立ギャラリーかわにし(川西能勢口駅)は、直営で運営する。

- ・ 活動助成

文化協会を通じて、活動補助を行っている。

- 基金
「文化振興基金」 213,272 千円
- ふるさと納税(寄付)
「芸術・文化の振興及び国際交流に関する事業」への寄付を募っている。
平成24年度は、2件20万円の納付があり、基金に積み立てている。

(6) 三田市 まちづくり部生涯学習支援課

市まちづくり部生涯学習支援課で、公民館や文化財、スポーツ振興などを担当している。
(教育委員会は、学校教育部門のみの権限を有する。)

外郭団体は設立していないが、総合文化センターは指定管理制度で運営している。

- 活動助成
文化協会へ加盟する団体には、発表会や展覧会の際に、1団体5万円を限度して補助(市全体では60万円まで)を行う。

平成24年度まで、一般的な活動にも10万円までの補助制度を設けていた。3年に1度申請できるようにしていたものの、申請団体が固定化し、目的が達成できなくなったことから廃止した。

- 基金
「文化振興基金」 377,745 千円
毎年、40,000 千円を取り崩し、指定管理料の一部に充てている。
- ふるさと納税(寄付)
文化を用途とした制度は設けていない。

(7) 宝塚市 産業文化部文化政策課

[公益財団法人宝塚市文化財団]

- 情報発信
市事業は、広報紙を中心に情報を発信している。指定管理事業は、独自で広報している。
- 活動助成
育成団体には助成を行っているが、その他の団体には行っていない。
- 基金
文化事業に関する基金はない。
- ふるさと納税(寄付)
直接、文化事業を用途とした制度は設けていない。